

船舶インシデント調査報告書

令和2年3月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和元年10月12日 09時30分ごろ
発生場所	新潟県佐渡市佐渡島西方沖 沢崎鼻灯台から真方位287° 10海里付近 （概位 北緯37° 52.3′ 東経138° 00.2′）
インシデントの概要	貨物船 ^{ギャラクシーシー} GALAXY SEAは、漂流中、主機の運転ができなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和元年10月15日、主管調査官（仙台事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 GALAXY SEA（ベリーズ籍）、4,329トン 9793557（IMO番号）、FRF HOLDINGS CO., LTD ディーゼル機関、4サイクル、出力1,290kW、回転数毎分 1,000、6気筒、ボア210mm、使用燃料C重油
乗組員等に関する情報	船長（中華人民共和国籍）、免状不詳 機関長（中華人民共和国籍）、免状不詳
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北北東、風力 5 海象：波向 北、波高 約2.6m
インシデントの経過	<p>本船は、船長及び機関長ほか14人（中華人民共和国籍8人、ミャンマー連邦共和国籍6人）が乗り組み、台風避難の目的で、令和元年10月12日01時25分ごろ佐渡島西方沖で主機を中立運転として漂流を開始した。</p> <p>本船は、風が強くなったので、船長が主機の操縦を機関制御室から船橋での遠隔操縦に切り替え、微速前進に操作して航行したところ、09時30分ごろ、主機潤滑油圧力低下の警報が鳴り、続いて保護装置が作動して主機が停止した。</p> <p>本船は、機関室で主機を始動したが、再び自動停止したので、船長が航行不能と判断し、海上保安庁に救助要請を行い、来援した巡視船にえい航されて新潟県上越市直江津港に向かった。</p> <p>本船は、えい航中、機関長が復旧作業を継続し、主機潤滑油圧力調整弁（以下「本件調整弁」という。）の圧力調整ネジで規定圧力まで昇圧させ、主機潤滑油圧力が安定したので、海上保安庁に主機が復旧した旨を伝え、10月15日10時50分ごろ自力航行を再開した。</p> <p>本船は、新潟港東区に着岸後、本件調整弁を予備品と交換した。</p> <p>本船は、就航から本インシデント発生時まで、本件調整弁の定期的</p>

	な点検及び整備を行っていなかった。
分析	本船は、本件調整弁の定期的な点検及び整備が行われていない状況下、漂泊中、主機を中立運転から微速前進として航行した際、主機潤滑油圧力が昇圧しなかったことから、保護装置が作動して主機が停止し、主機の運転ができなくなり、運航不能となったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、本件調整弁の定期的な点検及び整備が行われていない状況下、漂泊中、主機を中立運転から微速前進として航行した際、主機潤滑油圧力が昇圧しなかったため、保護装置が作動して主機が停止し、主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 主機潤滑油圧力調整弁の定期的な点検及び整備を行うこと。